

劇団風の子中部公演

ぷりんとせ

構成・演出／中島研 制作／西川典之

劇団風の子中部

ぱらりっとせ

構成・演出／中島研
美術／有賀二郎
わらべうた指導／古賀由美子
制作／西川典之



このお芝居をつくるにあたって

岐阜に拠点をすえ各地への公演を続ける中で、私たちは岐阜という地域をもっと知りたいたいと思いました。岐阜県は飛騨から美濃、そして美濃地域は東西にも広く、それぞれの土地に根付く豊かな文化があります。綿々と底に流れる人々の思いの深さ、そこから表現される伝統文化・芸能の数々。少しでも自分たちのアイデンティティを創造し全国の子どもたちに届けていきたい。私たちの内奥に創造の核が生まれた瞬間でした。そして私たちの取材の旅が始まりました。

どんなに苦しい時代でも、それをはじき返してきた民衆の力、とりわけ子どもたちは“あそび”の中で文化を再創造し、今につなげてきたのではないかと。今や子どもをとりまく社会は商業主義に汚染され続け大人も子どもも総動員されているかに見えますが、私たちは子どもの力を信じ、昔を懐かしみ伝統文化を見直すというだけに留まらず、現在と未来を生きる自分たちと子どもたちの手で、素晴らしい素材を生かしながら新しい劇空間を創り上げていきたいと思ひます。

西川典之

おもな内容

昔あそび

お手玉

まりつき

なわとび

竹馬

風車

傘まわし

わらべうた

郡上踊り

おはなし

岐阜の民話より

「はなさかこぞう」

(いくつかのプログラムを組み合わせて上演致します。)



ゆすらん かすらん
たかいやまこえて ひくいやまこえて
あっぱっぱ ぱらりっとせ〜

日本一の生産地

岐阜・加納の和傘づくり 協力／株式会社 マルト藤澤商店

岐阜は古くから竹や糊が得られる土地でした。そして何といても美濃和紙に代表される上質な紙の産地です。そんな環境の中、「加納の和傘」が発展してきました。岐阜の傘作りの特徴は100を超える製作工程を分けそれぞれを専門の“職人”がこなす分業制です。使われる材料(竹、和紙、木、糸)のもつやさしさ、傘のもつ機能美、趣き、そして多くの人の手の集積である事にこだわりと誇りを持って和傘を作り続けています。その和傘を劇団風の子がお芝居の道具として舞台に使用されるとのこと。和傘を未来につなげていくためにも、今の子どもたちに日本の文化を伝えていくためにも、劇団風の子中部の作品に大いに期待します。



劇団風の子 中部

〒500-8241 岐阜県岐阜市領下 21-16
TEL : 058(215)7780 FAX : 058(215)7781
E-mail : tokai@kazenoko.co.jp

劇団風の子 / 〒155-0031 東京都世田谷区北沢 4-21-19 TEL:(03)3466-8339

(E-mail) tokyo@kazenoko.co.jp (URL)http://www.kazenoko.co.jp
北海道事務所 011(726)3619 東北事務所 0241(23)0812 八王子事務所 042(652)1001
関西事務所 075(957)8502 中四国事務所 082 (870) 0215 九州事務所 092(841)7889

